

令和3年度

事業報告書

自 令和3年 1月 1日

至 令和3年12月31日

公益財団法人 馬事文化財団

目 次

I 根岸競馬記念公苑における事業	1
1 馬の博物館事業	1
(1) 馬に関する博物資料の展示	1
(2) 馬に関する博物資料の調査、研究	4
(3) 出版事業	4
(4) 馬に関する博物・図書資料の収集、保管	4
(5) 資料の貸出	5
(6) 特別イベント	6
(7) 馬に関する講演会等	6
(8) 他館等との交流	7
(9) 外国人観光客への対応	7
(10) その他の協力	7
2 馬展示事業	7
(1) 馬の展示	7
(2) 馬事イベントの開催と外部協力	8
(3) 春秋特別イベント	9
(4) 厩舎管理等	9
3 馬文化保存事業	9
(1) 馬事伝統行事保存事業	9
(2) 在来馬種保存事業	9
4 公苑の管理	10
5 入館者・入苑者	10
II J R A 競馬博物館における事業	11
1 J R A 競馬博物館事業	11
(1) 馬及び競馬に関する展示	11
(2) 馬の学び舎 ミュージアム・ホールでの展開	13
(3) 競馬に関する博物資料の調査、研究	14
(4) 出版事業	14
(5) 競馬に関する博物資料の収集、保管	14
(6) 馬に関する普及活動及び学習支援	15
2 案内業務及び入館者	15

Ⅲ 競馬振興会館（Gate J.）事業	16
1 競馬振興会館（Gate J.）事業	16
(1) 馬の文化及び競馬に関する展示と各種情報の発信	16
(2) イベントの実施	17
(3) 馬の文化及び競馬に関する各種映像の放映	17
2 入館者	17
Ⅳ 広報活動	18
1 馬の博物館	18
2 J R A競馬博物館	18
3 Gate J. 東京・大阪	19
Ⅴ J R A賞馬事文化賞候補作品の情報収集	19
Ⅵ 寄附金・募金の受入れ状況	19
Ⅶ 庶務	20
1 評議員に関する事項	20
2 役員等に関する事項	20
(1) 役員	20
(2) 参与	20
(3) 職員及び組織図	20
3 評議員会及び理事会	21
(1) 評議員会	21
(2) 理事会	21

令和3年度 事業報告

令和3年度においては、当財団定款第4条の目的を達成するため、事業計画に基づき根岸競馬記念公苑・馬の博物館をはじめとする財団各施設等において様々な事業を予定していましたが、昨年来の全国的な新型コロナウイルス感染症拡大の勢いはおさまらず、各施設の臨時休館や事業の中止を余儀なくされました。この様な状況の中、実施した事業については感染拡大防止策を講じた上で開催しました。

I 根岸競馬記念公苑における事業

1 馬の博物館事業

(1) 馬に関する博物資料の展示

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により年間展示期間を変更・縮小し、下記のとおり第2及び第3展示室において、特別展、企画展及びテーマ展を開催しました。

展示期間	展示タイトル	展示場所
1.6～4.18 (1.6～3.21 臨時休館)	※エアタイトケース工事のため閉鎖	第2展示室
	テーマ展「小さな騎士(ナイト)たち」	第3展示室
4.23～6.20 (4/27～5/14 臨時休館)	春季特別展「友(ウマ)とともに…平和の祭典!!馬(馬具)に由来する種目と馬術競技」	第2・3展示室
6.26～9.5 (8.11～9.5 臨時休館)	特別展「サムライアーマー」	第3展示室
	企画展「やまさき拓味画『優駿の門 2020馬術』原画展」	第2展示室
9.1～11.21 (9.11～9.30 臨時休館)	秋季特別展 「鞍上にて駆ける近代 御料馬・主馬寮・天覧競馬」	第2・3展示室
11.27～R4. 2.13	テーマ展「武者絵の世界 一人も馬も大あばれー」	第2展示室
	テーマ展「ゆめかわ?ちょいこわ?ユニコーンとペガサス」	第3展示室

① 春季特別展

本展では、オリンピック・パラリンピックで実施される「馬術競技」、馬(馬具)がルーツとなる体操種目別「あん馬」と「跳馬」、そして飛越障害競技が含まれる「近代五種競技」に焦点をあてました。

また1964年東京大会を振り返り、聖火、開閉会式、シンボルマーク、ピクトグラム、芸術部門など同大会の主たる軌跡を紹介しました。

展示品は第18回東京大会体操競技の金・銀・銅メダル、実際に使用されたあん馬や跳馬をはじめ貴重な実物・写真資料をご貸与いただきました。

展示にあたっては、馬術競技日本史上唯一の金メダリスト「西竹一選手とウラヌス号」のコーナーなどを設け、人馬競演の素晴らしさを実感していただきました。外国人観光客の来館を想定し、解説では、写真・イラストを多用しました。

このほか、東京2020組織委員会ブースの併設やPR映像の提供により、本年開催の大会概要も併せて紹介いたしました。

なお、本展は東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の「東京2020参画プログラム（文化オリピアド）」の認証を受けて開催しました。

② 特別展

1961年の創設以来、武具全般に関する研究と保存活動を続けてこられた一般社団法人日本甲冑武具研究保存会との共催により、特別展「サムライアーマー」を開催しました。本展では、日本甲冑に最も変化が見られた室町時代後期、戦国そして江戸時代前期のものを中心に、平安時代から江戸時代にかけての甲冑や馬具を展示しました。

日本固有の甲冑は、平安時代中期の発生から幕末まで約千年以上の歴史を持ちます。武士が身につける防具であり、主に騎乗する兵士が着装するものであることから、馬の文化と密接にかかわっていました。また、金工、漆工、彫金、皮革加工、染織といった日本の伝統技術の結集であり、各時代の最高水準の技術によって製作された美術工芸品ともいえます。

本展においては、本物の馬具を着装させた在来馬模型に、甲冑を身に着けた人形を騎乗させ、江戸時代以前の騎馬武者を再現しました。その他、残存例の少ない平安時代の和鞍や馬に着装させる馬鎧など、馬具も併せて紹介しました。

③ 秋季特別展

秋季特別展は、宮内庁宮内公文書館と共催し、「鞍上にて駆ける近代 御料馬・主馬寮・天覧競馬」を開催しました。同館は、明治以降の宮内省・宮内府・宮内庁が作成又は取得した特定歴史公文書等を約9万点所蔵しており、馬に係る資料も多数残されています。そこで本展では、馬の博物館と宮内公文書館が所蔵する美術工芸品、歴史資料及び写真等を併せて展示し、皇室と宮内省に伝わる馬事文化を紹介しました。

特に本展では、歴代天皇の御料馬、明治天皇の天覧競馬及び宮内省で馬に係る事務を司った主馬寮を中心に取り上げました。その他にも主馬寮に伝わる古式馬術や御料牧場、歴代天皇が御詠みになった御製をはじめ、様々な角度から皇室と馬に係る歴史・文化を紹介しました。

また関連イベントとして、10月23日と11月3日に、当館学芸員と宮内公文書館の研究者による講演会を開催し、展示に対する理解を深めてもらえるよう努めました。

④ 企画展

JRAは、競馬漫画の第一人者であるやまさき拓味氏に2020年(令和2)東京オリンピック・パラリンピック開催にあわせ、馬術競技をテーマとした番外編の執筆を依頼しました。

本展では、JRAのホームページで公開中だったやまさき拓味氏の作品の原画をお借りして前後期の2回に分け、オリンピック・パラリンピック開催時期に合わせて展示しました。これまで馬にふれたことのない方にも作品を通してアプローチし、原画展示によって、そこに描かれた馬と心を通わせる喜びや迫力ある競技の様子を伝え、馬や馬術に興味を持つ層のすそ野を広げる一助となるよう企画しました。

⑤ テーマ展

- ・「小さな騎士(ナイト)たち」は、騎士をモチーフとした陶器、ブロンズ、染織等の考古・美術資料を展示し、騎乗が盛んになった3,000年程前から、世界各地で馬の図像が数多く制作されるようになったことを紹介しました。また、古代中国出土の鹿角製ハミやイラン・ルリスタン地方出土の青銅製ハミを展示し、騎乗が始まった時期の馬具もあわせて紹介しました。
- ・「武者絵の世界一人も馬も大あばれー」では、源平合戦や戦国時代において活躍した武士や馬のエピソード、『三国志』に登場する豪傑らを描いた浮世絵版画を中心に展示し、画面を縦横無尽にあばれ回る人と馬の雄姿を紹介しました。
- ・「ゆめかわ?ちょいこわ?ユニコーンとペガサス」では、青銅製ベルトや銅鏡、コインなどの他、オディロン・ルドン《囚われのペガサス》といった美術資料、《美少女戦士セーラームーン》の書籍など、幅広い分野の資料を展示し、馬に似た姿をした幻獣であるユニコーンとペガサスについて、その起源や歴史、現代での描かれ方などを紹介しました。

⑥ 常設展示

常設展示は第1、第2及び第4展示室において実施しました。

ただし体験用機器等は新型コロナウイルス感染防止の観点から使用を中止とする等、一部に制限を設けて運用しました。

また第1展示室の「洋式競馬のはじまり」パネルの一部を更新しました。

展示物	展示場所
根岸競馬の歴史・皇室と競馬等	第1展示室
曲がり家・明治天皇御料馬車	第2展示室
ウマの進化・馬と人との関わり	第4展示室

(2) 馬に関する博物資料の調査、研究

- ・当館所蔵の出土馬骨について、約 360 点の整理作業及び 2 点の放射性炭素年代測定を行いました。
- ・秋季特別展「鞍上にて駆ける近代 御料馬・主馬寮・天覧競馬」開催準備のため、宮内庁宮内公文書館、明治神宮ミュージアム及び成田市三里塚御料牧場記念館等で調査しました。
- ・企画展「やまさき拓味『優駿の門 2020 馬術』原画展」開催準備のため、展示する原画作品の選定と作品にかかわるコンセプトなどの聞き取り調査を実施しました。
- ・令和 4 年度開催予定の特別展「馬とメルヘン ―やなせたかしの世界―(仮)」のため、香美市立やなせたかし記念館において絵画作品を調査しました。
- ・令和 4 年度開催予定の特別展「狩野派と馬(仮)」のため、板橋区立美術館及び静岡県立美術館において絵画作品を調査しました。
- ・大学教授、博物館・美術館学芸員及び研究者による当館所蔵資料の調査依頼に協力しました。

件数	調査依頼資料名
1	「森元氏旧蔵文書」、「羽柴秀吉書状」、「織田信雄書状」、「羽柴秀吉朱印状」、「北条家朱印状」、「黒田円清書状」、「加藤清正書状」、「伊達政宗書状」

(3) 出版事業

特別展の開催にあわせ「友(ウマ)とともに…平和の祭典!! 馬(馬具)に由来する種目と馬術競技」、「サムライアーマー」、「鞍上にて駆ける近代 御料馬・主馬寮・天覧競馬」の 3 件の図録を刊行しました。

(4) 馬に関する博物・図書資料の収集、保管

一般財団法人日本中央競馬会弘済会から助成を受け、博物資料を購入しました。

① 購入資料

	資料名	
1	木造馬頭観音坐像 江戸初期	1 躯
2	掛軸 尾竹国観画「狩場 御富士」 明治 43 (1910) 年	3 幅
3	やまさき拓味漫画原画『優駿の門 2020 馬術』 令和 2・3 (2020・2021) 年	1 式
4	文書「徳川家康伝馬朱印状」 慶長 6 (1601) 年	1 点
5	文書「徳川秀忠伝馬朱印状」 元和 6 (1620) 年	1 点
6	浮世絵 歌川豊広画「馬に乗る若者と美人従者」江戸時代中期	1 点

7	浮世絵 昇亭北寿画「江之嶋七里ヶ浜」 文政期（1818～30）	1点
8	掛軸 小堀鞆音画「那須宗隆射扇眼図」 1幅 大正時代	1幅
9	浮世絵 歌川広重画「東海道五拾三次之内川崎・異版」江戸時代	1点
10	浮世絵 歌川広重画「東海道五拾三次之内 鳴海」江戸時代	1点
11	浮世絵 月岡芳年画「賤ヶ峯大合戦之図」文久元（1861）年	1点
12	手塚治虫直筆コマ原稿『どろろ』昭和42～43（1967～1968）年	1点

② 寄贈を受けた資料

寄贈については、45年に及ぶ収集活動に伴い、収蔵庫の限界値が近づいており、本年から原則として受け入れを中止しました。

③ 資料の管理・保管

- ・7月25日、26日に収蔵庫の燻蒸消毒及び展示室等の床面消毒を、11月14日、15日に収蔵庫の燻蒸消毒を実施しました。
- ・平成30年、令和元年に実施した調査に基づき、第2展示室内すべて（4件）のエアタイトケースについて、昨年末から3月21日まで第2展示室を閉鎖し、気密性向上のための工事及び酸化抑制のため錆除去・再塗装工事を実施しました。
- ・昨年新たに導入したクラウド型の資料管理システムに新規の図書・写真・博物資料の情報等を入力しました。
- ・過去に資料を撮影した写真フィルム約5,000コマをスキャニングし、デジタルアーカイブ化を進めました。
- ・版画資料の保存のため、資料21点のマット装を行いました。

(5) 資料の貸出

博物館及び美術館等の依頼により資料を貸し出しました。

- ・東京農業大学「食と農」の博物館（「両極の馬具—日本人の馬あしらい—」）に「牡丹流水蒔絵鞍鐙」等計39件を貸し出しました。
- ・東京都現代美術館（「GENKYO 横尾忠則」展）に、横尾忠則作《薔薇の蕾と薔薇の関係》を貸し出しました。
- ・斎宮歴史博物館（「斎宮平安五種競技—弓・馬・鞠・鷹・相撲—」展）に、久隅守景《賀茂競馬図屏風》、住吉具慶《源氏物語図色紙 蛭》、栗原信充『古今名馬図会 上巻』の計3点を貸し出しました。

一方、読売新聞社大阪本社（「皇室とスポーツ—報道写真とゆかりの品でたどる軌跡—」）に「皇室御賞典競走優勝馬主賞品 御紋付花盛器」等4件と、世田谷区美術館に馬術関連資料や解説パネルを貸出予定でしたが、中止となりました。

このほか、書籍、新聞、雑誌、テレビ等多くの媒体（43件）に当館所蔵品などの画像を無償提供し、当館資料の有効利用と広報活動に努めました。

	貸出資料名	貸出先	貸出期間
1	目黒競馬場風景 他、計 22 点（画像のみ）	目黒区立めぐろ歴史資料館	3.7～8.29
2	牡丹流水蒔絵鞍籠 他、計 39 点	東京農業大学「食と農」の博物館	4.23～9.5
3	油彩画《薔薇の蕾と薔薇の関係》1 点	東京都現代美術館	6.10～11.10
4	久隅守景画《賀茂競馬図屏風》他 計 3 点	斎宮歴史博物館	9.22～12.1

(6) 特別イベント

- ・ミュージアムコンサート in 馬の博物館 事前申込制・定員約 40 名
（12 月 11 日、主催 クラシック・ヨコハマ 2021、出演 横浜市民広間演奏会）

その他、本年予定していたさくらウィーク、夏休み企画及びクリスマスのワークショップは新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、すべて中止しました。

(7) 馬に関する講演会等

① 講演会の開催

- ・仲尾台中学校コミュニティハウス主催の定例会において「近代化とともに歩んだ横浜・根岸の競馬」と題した講義を横浜市の仲尾台中学校で実施しました。（7 月 17 日）
- ・高知県主催「県史編さん開始記念シンポジウム」において、「歴史研究に携わる県出身者によるリレートーク」と題した講演を高知県民文化ホール（オレンジホール）で実施しました。（11 月 23 日）
- ・日本交通協会競馬研究部主催「第 4 回競馬研究会」において「日本の競馬史と現在の馬・競馬事情」と題した講義を新国際ビル（有楽町）で実施しました。（12 月 17 日）

② 学芸員課程学生の博物館実習

東京農業大学、鶴見大学、女子美術大学より 3 名の実習生を受け入れました。（8 月 18 日～22 日）

③ 職業体験学習

学校教育機関と連携し、生徒の職業体験学習の受け入れを予定していましたが、中止しました。

横浜市立日野南中学校（2年）数名	1月14日（中止）
横浜市立根岸中学校（2年）数名	2月4日（中止）
横浜市立岡本中学校（2年）数名	3月3日（中止）

(8) 他館等との交流

- ・ 博物館事業の充実を図るため、神奈川県博物館協会が開催する会議、研究会に参加しました。
- ・ 各地の博物館・美術館、教育機関との交流を通じて資料の相互活用及び情報交換を実施しました。

(9) 外国人観光客への対応

館内及び近隣駅の観光案内所に英語版の案内リーフレットを掲出し、外国人観光客の受け入れ態勢を整えました。

(10) その他の協力

- ・ 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館及び高津装飾が、一乗谷朝倉氏遺跡博物館建設に伴う在来馬模型製作のため、当館で展示している在来馬模型の調査実施に協力しました。
- ・ 東京農業大学「食と農」の博物館における展覧会「両極の馬具—日本人の馬あしらい—」は日本の馬文化を紹介する内容であり、財団の目的と合致するため協賛しました。また、会期中に同館においてワークショップ（7月10日、「ずぼんぼ」を作ってあそぼう！）を開催しました。
- ・ J R A本部総務部総務課の依頼により、J R A本部の移転先の新社屋に飾る絵画の選定等に協力しました。

2 馬展示事業

(1) 馬の展示

博物館事業の一環として実施する実馬展示については、多品種の馬 11 頭を繋養し、馬場での放牧や騎乗等の他、日常の飼養管理の様子を紹介し、馬の行動を観察できる環境を維持しました。

展示馬一覽表

	馬名	品種	毛色	生年	年齢	性別	産地	体高	入退厩日
1	ミカン	野間馬	栗毛	2010年5月	11	セン	今治市	100cm	2013. 2. 15 野間馬保存会より 借受
2	ゆき	北海道和種	河原毛	2011年4月	10	牝	函館市	127cm	2013. 11. 17 購入
3	マイネル キッツ	サラブレッド	栗毛	2003年3月	18	セン	新冠町	164cm	2013. 12. 11 サラブレッドクラブ・ ラフィアンより受贈
4	シザーZ	Zangersheide	鹿毛	2005年6月	16	セン	ベルギー	168cm	2014. 9. 11 競馬学校より受贈
5	マイネル ネオス	サラブレッド	鹿毛	2003年3月	18	セン	新冠町	160cm	2014. 11. 6 サラブレッドクラブ・ ラフィアンより受贈
6	サンゴ	与那国馬	鹿毛	2014年3月	7	セン	与那国島	117cm	2016. 3. 8 購入
7	イツ	フリージアン	青毛	2002年4月	19	セン	ベルギー	166cm	2019. 11. 27 東京競馬場より受贈
8	エミ	ミニチュアホース	青毛	2001年	20	牝	不詳	88cm	2019. 11. 27 東京競馬場より受贈
9	カスミチャン	サラブレッド	芦毛	2012年3月	9	牝	新ひだか町	161cm	2019. 12. 18 購入
10	エベレスト	ベルギー温血種	芦毛	2004年4月	17	セン	ベルギー	172cm	2020. 3. 7 競馬学校より受贈
11	ヒメ	日本ポニー	鹿駁毛	2009年4月	12	牝	旭川市	120cm	2021. 12. 16 東京競馬場より受贈
	ペルニー	中半血	茶斑	1998年 推定	23	セン	不詳	102cm	2021. 12. 10 退厩

※年齢は、2021年12月末日現在

(2) 馬事イベントの開催と外部協力

本年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、規模・内容を変更し、ふれあいイベントを実施しました。

① 試乗会

例年実施していた「乗馬デー」は中止し、4・11・12月に限り、第3日曜日に「馬車の試乗会」を各々先着10組対象に実施しました。

② にんじんタイム

例年、毎週土曜日に、お客様に馬に親しんでいただくため、にんじんを与え、馬と触れ合うことができる機会を提供していましたが、本年は、3・4・6・7・10月に先着10組、11・12月に先着20組を対象に実施しました。

③ 体験学習講座

例年、小学校高学年児童を対象に、馬に関する基礎知識の学習や馬房の清掃、体験乗馬、馬の手入れ等を行う「一日愛馬教室」を実施していましたが、本年は中止しました。

④ その他の協力

幼稚園・小学校等からの要請に応じた見学及び学校生徒の職場体験学習は中止しました。

J R A 及び外部団体等のイベントに協力し、在来馬等の展示馬を活用して実施していた「馬とのふれあいイベント」も全て中止となりました。

(3) 春秋特別イベント

本年は、春季及び秋季特別イベントともに中止しました。

実施予定日	催物（集客）
5.5	中止
11.7	中止

(4) 厩舎管理等

展示馬の健康管理については体温・行動等に常に留意し、また、定期的に伝染病予防接種等の防疫管理、厩舎の消毒・害虫駆除等の衛生管理を実施しました。

実馬の展示については、来苑者の厩舎地区への立ち入りを制限しましたが、馬の運動中の様子については「3密」を避ける施策をとりながら見学できるように展示環境の提供に努めました。

3 馬文化保存事業

(1) 馬事伝統行事保存事業

わが国に古くから伝わる馬に係わる伝統行事の保存及び振興を図るため、馬事伝統行事を実施する 42 団体に対して、助成金の交付を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、28 団体が行事を中止したため、助成金交付は 14 団体となりました。

(2) 在来馬種保存事業

わが国に現存する 8 種類の在来馬種の保存活動を実施する団体に対し、公益社団法人日本馬事協会を通じて助成金を交付しました。

また、Gate J. 出張イベントとして 2019 年まで実施していた競馬場等での「在来馬保護チャリティーイベント」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。

4 公苑の管理

草花の植栽や樹木の剪定等を計画的に実施し、公苑の整備と美化に努めました。また、公苑内の警備や建物の総合管理業務等は各業者に委託し実施しました。

5 入館者・入苑者

区分	馬の博物館						根岸競馬記念公苑		
	開館 日数	入館者数					開苑 日数	入苑者数 (概数)	1日 平均
		大人	小人	団体	合計	1日 平均			
1月	0日	0	0	0	0	0	0日	0	0
2月	0日	0	0	0	0	0	0日	0	0
3月	6日	491	76	62	629	105	7日	11,200	1,600
4月	16日	731	140	14	885	55	22日	16,220	737
5月	12日	402	73	8	483	40	14日	9,290	664
6月	18日	542	90	7	639	36	26日	9,980	384
7月	23日	705	108	10	823	36	27日	8,010	297
8月	7日	202	52	6	260	37	8日	3,170	396
9月	0日	0	0	0	0	0	0日	0	0
10月	23日	867	184	12	1,063	46	27日	16,270	603
11月	17日	981	154	63	1,198	70	25日	18,830	753
12月	19日	698	155	25	878	46	23日	12,190	530
3年計	141日	5,619	1,032	207	6,858	49	179日	105,160	587
2年計	158日	5,274	1,154	345	6,773	43	259日	144,550	558
前年比 (%)	89.2	106.5	89.4	60	101.3	114.0	69.1	72.7	105.2

*1日最高入館者数 211人 3月27日

*1日最高入苑者数(概数) 4,690人 3月27日

*教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般団体	競馬関係
0	0	0	0	0	0	0	182	0

II J R A 競馬博物館における事業

1 J R A 競馬博物館事業

(1) 馬及び競馬に関する展示

年間展示スケジュールは以下のとおりでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による臨時休館や、一部展示の期間を変更し、下記のとおり特別展、企画展及びエントランス展を開催しました。

展示期間		展示タイトル	展示場所
R2. 2. 29～ 2. 14		「2019 年度 J R A 賞展」 (展示期間を延長)	展示室 3
R2. 2. 29～ R4. 4	企画展	「馬にかかわるいろいろなおしごと～競走馬を支える厩舎スタッフ～」 (展示期間を延長)	馬の学び舎
R2. 11. 7～ 5. 30	企画展	「キタサンブラック号 顕彰馬選定記念展」	メモリアルホール
R2. 11. 7～ 2. 21	エントランス展	「第 87 回日本ダービー優勝馬展」 (展示期間を変更)	エントランスホール
R2. 12. 12～ 2. 21	エントランス展	「第 40 回ジャパンカップ優勝馬展」	エントランスホール
4. 24～9. 26		「2020 年度 J R A 賞展」 (展示期間を変更)	展示室 3
4. 17～6. 6	エントランス展	「2021 年度新人騎手紹介展」 (展示期間を変更)	エントランスホール
4. 24～8. 29	特別展	「馬術競技と馬事公苑 ～1964 から 2020 へ～」	ギャラリー エントランスホール
6. 12～9. 26	エントランス展	「第 88 回日本ダービー優勝馬展」 (展示期間を延長)	エントランスホール
9. 11～11. 28	企画展	「長瀬智之作品展」 (次年度に延期)	馬の学び舎 特別展示室
10. 9～11. 28	秋季 特別展	「ジャパンカップとその時代」	ギャラリー 展示室 3 エントランスホール
12. 4～ R4. 2. 13	企画展	「競馬ポスター展」	ギャラリー 展示室 3
12. 11～ R4. 2. 20	エントランス展	「第 41 回ジャパンカップ優勝馬展」	エントランスホール

臨時休館：1月6日～3月26日、4月25日～5月14日、7月3、4日及び競馬非開催日（平日）

① 特別展

- ・昨年春に予定しておりました「馬術競技と馬事公苑～1964 から 2020 へ～」展を開催しました。東京オリンピック・パラリンピックにおける馬術競技（馬場・障害）の会場となっている馬事公苑は、幻に終わった 1940 年（昭和 15）の東京大会に向けて開設され、かつて騎手養成所があり、戦時中には能力検定競走が開催されていました。

そこで、馬事公苑の歴史について関係資料を展示して紹介した他、オリンピック・パラリンピックで実施された馬術競技（近代五種を含む）について解説しました。なお、本展は東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会からもブースを出展いただき、大会の概要等を紹介しました。

- ・秋の東京競馬を締めくくるビッグレース“ジャパンカップ”。昭和 50 年代前半に日本中央競馬会で「世界に通用する強い馬づくり」が提唱され、日本でも国際競走を施行し、海外の強豪を日本に招待してトップレベルのサラブレッドと競わせようという機運が高まりました。そのような時代の中、ジャパンカップは 1981 年（昭和 56）に日本初の国際招待競走として創設されました。そこで同競走が創設から 40 周年を迎えたことを記念した「ジャパンカップとその時代」展を開催し、歴代の優勝馬や日本競馬の国際化、その時代の主な出来事等とともにレースの歴史を振り返りました。

② 企画展

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和 2 年は開館日数が少なかったため、馬の学び舎では「馬にかかわるいろいろなおしごと～競走馬を支える厩舎スタッフ～」の展示期間を延長して、競馬を日々支えている調教師、調教助手、厩務員といった厩舎スタッフの仕事を紹介しました。
- ・メモリアルホールにて令和 2 年より開催していた「キタサンブラック号 顕彰馬選定記念展」の展示期間も会期を延長しました。
- ・9 月からは「長瀬智之作品展」を予定していましたが、競馬博物館の平日休館や、秋の東京競馬における入場者制限に伴い、開催を次年度に延期しました。
- ・日本中央競馬会では広報・告知用として作成している各種ポスターの中から、今回はヒーロー列伝のポスターを中心に紹介する「競馬ポスター展」を開催しました。

③ その他の展示

令和 2 年より開催していた「2019 年度 J R A 賞展」の展示期間を延長しました。

- ・エントランスでは、一部展示期間を延長し、「第 87 回日本ダービー優勝馬展」、「第 88 回日本ダービー優勝馬展」、「第 41 回ジャパンカップ優勝

馬展」を開催しました。また、「2021年度新人騎手紹介展」では、3月にデビューした競馬学校騎手課程 37 期生 8 名の写真パネル及び関連資料を展示し紹介しました。

- ・ J R A 賞の各賞受賞馬・受賞者の功績を広く紹介するため、「2020 年度 J R A 賞展」を開催しました。

④ 競馬及び馬に関する常設展示

ライブシアター「Thoroughbred」において「サラブレッド・ラボ」、「競走馬への道～栄光を目指して～」及び「“競馬の祭典”日本ダービー～馬と人とは織りなすドラマ～」を上映しました。

なお、「なりきりジョッキー」や「スターティングゲート」などの体験機器は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、運用を休止しました。

⑤ 移動展示及び他団体主催展示への協力

	展示期間	展示タイトル	展示場所
貸出資料			
1	4. 3～8. 29	日本が誇る名騎手 岡部幸雄の足跡	美浦トレーニング・センター ターフプラザ
		第 5 回ジャパンカップ優勝時着用服色及び使用鞭	
2	7. 31～10. 3	顕彰馬に選定された 34 頭の蹄跡	新ひだか町博物館 浦河馬事資料館
		キタサンブラック号展示パネル 10 枚	

(2) 馬の学び舎 ミュージアム・ホールでの展開

等身大の馬像(ばん馬・サラブレッド・日本在来馬)を常設するとともに、下記展示を開催し、博物資料、解説パネルを設置しました。また、映像コーナーでは 150 インチ中型映像装置を用いて、オリジナルアニメーションや馬事文化紹介映像等を上映しました。

〈馬の学び舎 展示一覧〉

	展示期間	展示タイトル
1	R2. 2. 29～R4. 4	企画展「馬にかかわるいろいろなおしごと～競走馬を支える厩舎スタッフ～」

〈馬の学び舎 映像上映一覧〉

	作品区分	タイトル
1	アニメ馬物語	走れ！ドンタ
2	〃	博物館は大騒ぎ
3	〃	頑固馬ミカゲじいさん
4	アニメ HORSE DREAMER	島田牧場へようこそ
5	〃	天下の沙汰も馬しだい
6	ホースショー	J R A 東京競馬場アトラクションホースショー ミニチュアホースの1日に密着 誘導馬マイネルハウオウの一日
7	グリーンチャンネル アーカイブス	競馬術 人馬のススメー2020ー
8	グリーンチャンネル アーカイブス	ジャパンカップ 世界の壁を打ち破れ！ (2004年ヒュ馬ンアワー)

(3) 競馬に関する博物資料の調査、研究

明治時代以降の競馬開催に関する文献資料を長期的に保存・活用するため、デジタルアーカイブ化に取り組みました。

(4) 出版事業

秋季特別展開催にあわせ「ジャパンカップとその時代」のパンフレットを刊行しました。

(5) 競馬に関する博物資料の収集、保管

① 寄贈を受けた主な資料

	資料名
1	賞品「1989年度J R A賞（最多勝利障害騎手）」星野忍元調教師 1点
2	賞品「1990年度J R A賞（最多勝利障害騎手）」星野忍元調教師 1点
3	賞品「第13回オーシャンステークス優勝調教師賞」星野忍元調教師 1点
4	星野忍元騎手使用鞭（障害1,000回騎乗記念） 1点
5	星野忍元騎手使用鞭（World Jumping Jockey Championships 記念） 1点
6	シャフリヤール号馬主服（第88回日本ダービー優勝時使用） 1点
7	シャフリヤール号蹄鉄（第88回日本ダービー優勝時装着） 一式
8	福永祐一騎手使用鞭（第88回日本ダービー優勝時使用） 1点
9	錦絵「上野不忍競馬之図」楊洲周延作 1点

10	油彩画「群雄」久保田政子作 1点
11	版画「ミルリーフ号」1点
12	版画「ニジンスキー号」1点
13	版画「バーラム号」1点
14	版画「オーモンド号」1点
15	油彩画「東京競馬場（仮題）」松本弘二作 1点
16	鉛筆画「馬（ジャングルポケット）」宮廻正明作 1点
17	版画「キングダムスタッド」 1点
18	タニノギムレット号額装蹄鉄（第69回日本ダービー優勝時装着）1点
19	写真「オールアロング号」1点
20	レリーフ「駈ける」池田勇八作 1点
21	記念品「大阪一ハンブルクカップ 2006年」1点
22	東京2020テクニカルオフィシャルユニフォーム（フォーマルウェア）2セット
23	東京2020テクニカルオフィシャルユニフォーム（カジュアルウェア）1セット
24	馬像「伝カブトヤマ」1点
25	陶板「1990年ワールドスーパージョッキーズシリーズ出場騎手記念写真」1点
26	コントレイル号馬主服（第41回ジャパンカップ優勝時使用）1点
27	福永祐一騎手使用鞭（第41回ジャパンカップ優勝時使用）1点

② 資料の管理・保管

- ・収蔵資料の燻蒸消毒による保存、整理等を実施しました。
- ・クラウド型の資料管理システムに、収集した図書・博物資料の情報を入力し、管理業務を実施しました。

(6) 馬に関する普及活動及び学習支援

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた各種イベントは中止しました。

2 案内業務及び入館者

総合案内所を始め館内にインストラクターを配置し、入館者に対する案内業務を実施しました。

区分	開館 日数	入館者数	1日平均 入館者数	備考					
1月	1日	33	33	開催日	0日	ハークウインズ	1日	平日	0日
2月	0日	0	0	開催日	0日	ハークウインズ	0日	平日	0日
3月	2日	162	81	開催日	0日	ハークウインズ	2日	平日	0日
4月	7日	948	135	開催日	1日	ハークウインズ	6日	平日	0日
5月	6日	1,353	226	開催日	6日	ハークウインズ	0日	平日	0日
6月	8日	1,512	189	開催日	8日	ハークウインズ	0日	平日	0日
7月	7日	766	109	開催日	0日	ハークウインズ	7日	平日	0日
8月	9日	628	70	開催日	0日	ハークウインズ	9日	平日	0日
9月	9日	712	79	開催日	0日	ハークウインズ	9日	平日	0日
10月	10日	2,858	286	開催日	8日	ハークウインズ	2日	平日	0日
11月	8日	3,999	500	開催日	8日	ハークウインズ	0日	平日	0日
12月	9日	1,607	179	開催日	0日	ハークウインズ	9日	平日	0日
3年計	76日	14,578	192	開催日	31日	ハークウインズ	45日	平日	0日
2年計	52日	16,508	317	開催日	17日	ハークウインズ	17日	平日	18日
前年比 (%)	146.2	88.3	60.6		182.4		264.7		

*1日平均入館者数／総入館者数

東京開催日 314人 / 9,728人

ハークウインズ日 108人 / 4,850人

非開催日（平日） 開館なし

Ⅲ 競馬振興会館（Gate J.）事業

1 競馬振興会館（Gate J.）事業

(1) 馬の文化及び競馬に関する展示と各種情報の発信

① Gate J. 東京

Gate J. 新橋は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年2月29日より臨時休館しておりました。同館は8月31日をもって閉館し、10月1日にJRA新本部ビル（日比谷フオートタワー）地下1階へ移転、11月24日に名称を「Gate J. 東京」と変更してリニューアルオープンしました。

施設移転に伴い、設備品及び映像・音響機器等を一新し、放映する映像素材も新たに制作しました。また、来館者誘引の目玉となる馬型ロボの制作や、ディープインパクト馬像の補修を行う等、常設展示の充実も図りました。館内にはこれらの常設展示に加え、随時更新できる展示コーナーを設け、下記の展示を実施しました。

	展示期間	展示タイトル
1	11.24～R4.4	<ul style="list-style-type: none"> パネル展示：日本洋式競馬の歩み、馬事文化振興・発展の取り組み、馬の博物館所蔵資料の紹介 実物資料展示：ブロンズ馬像（エクリプス号他3体）、天皇賞御紋付盾（複製）、実使用蹄鉄（ディープインパクト号他）

移転や開館に向けた準備は円滑に行いましたが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、当面の間、テスト運用とし、一部提供サービスの制限・中止等、規模を縮小して開館することとなりました。

② Gate J. 大阪

Gate J. 梅田は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年2月29日より臨時休館を継続しました。11月24日の「Gate J. 東京」の再開にあわせて名称を「Gate J. 大阪」に変更しました。

(2) イベントの実施

・ Gate J. 東京

グリーンチャンネル番組「草野仁の Gate J. + (プラス)」の収録※を12回実施した他、テレビ番組制作会社の依頼による競馬関連番組の収録が2件、競馬関連団体の依頼による映像の収録が3件ありました。

※全て無観客収録

(3) 馬の文化及び競馬に関する各種映像の放映

・ Gate J. 東京

11月24日以降の開館時は、大型モニター等を利用し、ドローンの撮影による北海道の馬産地の風景映像や、写真家による競馬写真のスライドショー等、新たに制作した映像を放映しました。また馬の博物館等の当財団施設の紹介や展示の案内等を実施しました。

なお、中央競馬のレース映像の放映は行いませんでした。

2 入館者

区分	Gate J. 東京			Gate J. 大阪		
	開館日数	入館者数	1日平均	開館日数	入館者数	1日平均
1月	0日	0	0	0日	0	0
}	}	}	}	}	}	}
10月	0日	0	0	0日	0	0
11月	5日	573	115	0日	0	0
12月	20日	1,522	76	0日	0	0
3年計	25日	2,095	84	0日	0	0
2年計	47日	22,407	477	29日	32,898	1,134
前年比(%)	53.2	9.3	17.6	-	-	-

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、平成31(2020)年2月29日より休館。Gate J. 新橋は令和2(2021)年8月31日をもって閉館し、JRA新本部ビル(日比谷フォートタワー)へ移転、11月24日より再開。

IV 広報活動

1 馬の博物館

- ① グリーンチャンネルにおいて春季特別展「馬（馬具）に由来する種目と馬術競技」の紹介映像を放映しました。また、J R A各施設、マスコミ、教育・文化関係機関、交通機関や観光案内所、近隣の協力企業等にポスターやパンフレットを配布しました。
- ② 春季・秋季特別展をはじめ、展覧会開催時には地元メディアや近隣に周知を図りました。
- ③ 月刊誌「優駿」等のJ R A発行印刷物に展示案内を掲出しました。
- ④ テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等のメディア取材に対応しました。
- ⑤ ホームページやFacebook、Twitterを活用し、最新情報・展示情報を随時更新するとともに、臨時休苑・休館等の緊急告知にも迅速に対応しました。
- ⑥ 施設案内等のリーフレット、展覧会チラシ等を配布し、広報活動の一助としました。

2 J R A競馬博物館

- ① 新型コロナウイルスの感染拡大防止のためJ R A東京競馬場への入場に制限がかかっていたことから、春及び秋の東京競馬開催中に実施しているインターネット広告、競馬雑誌等による告知は行いませんでした。
- ② 東京競馬場内外の博物館専用看板を有効に活用し、競馬場来場者等への博物館誘導を図りました。
- ③ 月刊誌「優駿」等のJ R A発行印刷物には、開館状況及び展示に関する案内を掲出しました。
- ④ ホームページを随時更新し、開館状況及び展示に関する告知を図りました。また、J R A競馬博物館公式Facebookにて適時、情報を発信しました。
- ⑤ オリジナルカレンダーを制作し、報道関係者・府中市内の各種機関・競馬関係者に配布しました。なお、来館者への配布については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました、

3 Gate J. 東京・大阪

- ① Gate J. 東京の移転、リニューアルオープンにあわせて、施設案内のハガキ等を適宜配布し広報活動の一助としました。
- ② Gate J. 東京の移転にあわせてホームページのデザインを含め内容を一新し、11月16日より再開告知を行うとともに、11月24日の再開後は適宜最新情報の発信に努めました。
- ③ 館内のパネル展示コーナー等を活用して、馬の博物館・JRA競馬博物館の展示活動をはじめとする当財団事業の紹介及び展覧会の開催告知を行いました。

V JRA 賞馬事文化賞候補作品の情報収集

JRAから業務委託を受けて、JRA賞馬事文化賞の候補作品の情報収集及び選定補助業務を実施し、269作品の情報と候補作品5点を報告しました。

VI 寄附金・募金の受入れ状況

本年度は、在来馬保護のため総額109,139円の寄附金を受入れました。

- ① 在来馬保護チャリティー募金(馬の博物館設置)
1月～12月 合計29,139円

- ② その他の在来馬保護のための寄附金

受入日	寄附金額 (円)
4.21	50,000
6.9	20,000
12.27	10,000
合計	80,000

Ⅶ 庶務

1 評議員に関する事項（令和3年12月31日現在）

氏名	就任日	退任日
岡部 長忠	H25. 1. 4	
澤野由紀子	H25. 1. 4	
山崎 毅紀	H25. 1. 4	
小島 薫	R2. 12. 10	
楯岡 信一	R2. 12. 10	
清水 靖博	R3. 4. 1	
臼田 雅弘	H31. 4. 1	R3. 3. 31

2 役員等に関する事項（令和3年12月31日現在）

(1) 役員

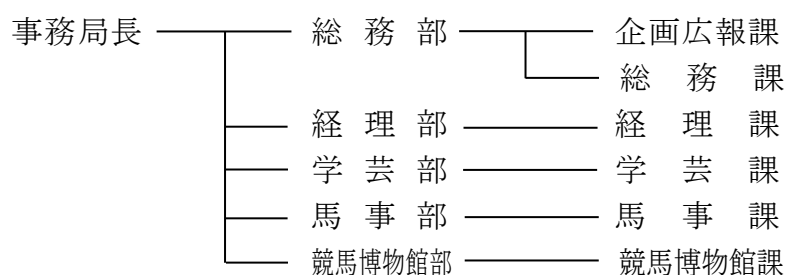
役職名	氏名	就任日	退任日	備考
理事長	小林善一郎	R2. 3. 27		
常務理事	山野辺 啓	H31. 3. 28		
理事	栗田 晴夫	H28. 2. 25		非常勤
理事	齊藤 茂	R2. 2. 27		非常勤
監事	石井 秀司	H30. 2. 23		非常勤
監事	杉浦 一成	R3. 4. 1		非常勤
監事	平野 浩章	H29. 3. 21	R3. 3. 31	非常勤

(2) 参与

氏名	就任日	退任日	備考
長塚 孝	H31. 4. 1		
真家 眞	R1. 7. 24	R3. 2. 28	

(3) 職員及び組織図

職員 22 名、嘱託 5 名で組織図は以下のとおりです。



3 評議員会及び理事会

(1) 評議員会

回数	開催日	議決事項等	評議員		議決の結果
			現在数	出席数	
1	書面決議 2.26	①令和2年度事業報告書について ②令和2年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等について ③定款の一部改正について ④任期満了に伴う評議員の選任について	6名 6名 6名 6名	6名 6名 6名 6名	全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成
2	書面決議 3.24	①当財団評議員として清水靖博様を選任することについて ②当財団監事として杉浦一成様を選任することについて	6名 6名	6名 6名	全員賛成 全員賛成
3	12.7	①令和4年度事業計画書について ②令和4年度収支予算書について ③理事及び監事の報酬等の総額について	6名 6名 6名	4名 4名 4名	全員賛成 全員賛成 全員賛成

(2) 理事会

回数	開催日	議決事項等	理事		議決の結果
			現在数	出席数	
1	書面決議 2.12	①令和2年度事業報告書について ②令和2年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等について ③定款の一部改正について ④任期満了に伴う評議員候補者の評議員会に対する推薦について ⑤第1回評議員会の開催について	4名 4名 4名 4名 4名	4名 4名 4名 4名 4名	全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成
2	書面決議 3.13	①当財団評議員として清水靖博様を選任するよう各評議員に提案することについて ②当財団監事として杉浦一成様を選任するよう各評議員に提案することについて	4名 4名	4名 4名	全員賛成 全員賛成
3	11.26	①令和4年度事業計画書について ②令和4年度収支予算書について ③理事及び監事の報酬等の総額について ④第3回評議員会の開催について(報告事項) ①理事長及び常務理事による職務の執行状況について	4名 4名 4名 4名	4名 4名 4名 4名	全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成